

西武池袋線(練馬高野台駅～大泉学園駅間)の連続立体交差事業及び同線
(練馬高野台駅～石神井公園駅間)の複々線化事業 調査計画書概要

1 事業者の名称及び所在地

(1) 事業者

名 称 東京都

代表者 東京都知事 石原 慎太郎

所在地 東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

名 称 西武鉄道株式会社

代表者 取締役社長 戸田 博之

所在地 埼玉県所沢市くすのき台一丁目 11 番地の 1

(2) 環境影響評価の実施者(都市計画を定める者)

名 称 東京都

代表者 東京都知事 石原 慎太郎

所在地 東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

2 対象事業の名称及び種類

名 称 西武池袋線(練馬高野台駅～大泉学園駅間)の連続立体交差事業及び同線(練馬高野台
駅～石神井公園駅間)の複々線化事業

種 類 鉄道の改良

3 対象事業の内容の概略

本事業は、西武鉄道池袋線の練馬高野台駅付近～大泉学園駅付近までの約 2.7km を連続立体交差化するとともに、練馬高野台駅付近～石神井公園駅付近までの約 1 km を複々線化し、併せて高架式で整備するものである。これにより、9か所の踏切をなくし、交通渋滞及び地域分断の解消並びに鉄道の輸送力増強を図ろうとするものである。

対象事業の内容の概略は、表 1 に示すとおりである。

表 1 対象事業の内容の概略

項目	内 容
事業区間	起点 練馬区高野台一丁目 終点 練馬区東大泉五丁目
事業延長	約 2.7km (高架橋 約 2.3km、擁壁 約 0.3km、地平 約 0.1km)
構造形式	高架橋、擁壁及び地平
対象駅	石神井公園駅
踏切解消数	9か所
工事予定期間	約 8 年

4 環境影響評価の項目の選定

環境影響評価の項目は、対象事業の事業計画案から環境影響要因を抽出し、地域の概況において把握した環境の地域特性を勘案し選定した。

選定した項目は、表2に示すとおりであり、騒音・振動、日影、電波障害、景観及び廃棄物の5項目である。

表2 環境影響要因と環境影響評価項目との関連表

環境影響 評価項目	予測する事項	区 分		工事の 完了後	
		工事の 施行中	建設 工事	車 両の 走行	施 設の 存在
騒音・振動	建設機械の稼働に伴う建設作業の騒音・振動				
	列車の走行に伴う鉄道の騒音・振動				
日 影	冬至日の日影の範囲、日影の時刻及び時間数の変化の程度				
電波障害	遮へい障害及び反射障害				
	パルス雑音障害及びフラッター障害				
景 観	地域景観の特性及び代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				
廃棄物	建設発生土及び建設廃棄物の排出量				

備考

- 1 環境影響要因に記載した事項ごとに、予測及び評価を行う必要があると認められる環境影響評価の項目に 印を付す。
- 2 予測する事項欄には、予測及び評価を行う予測事項を列挙して記載する。